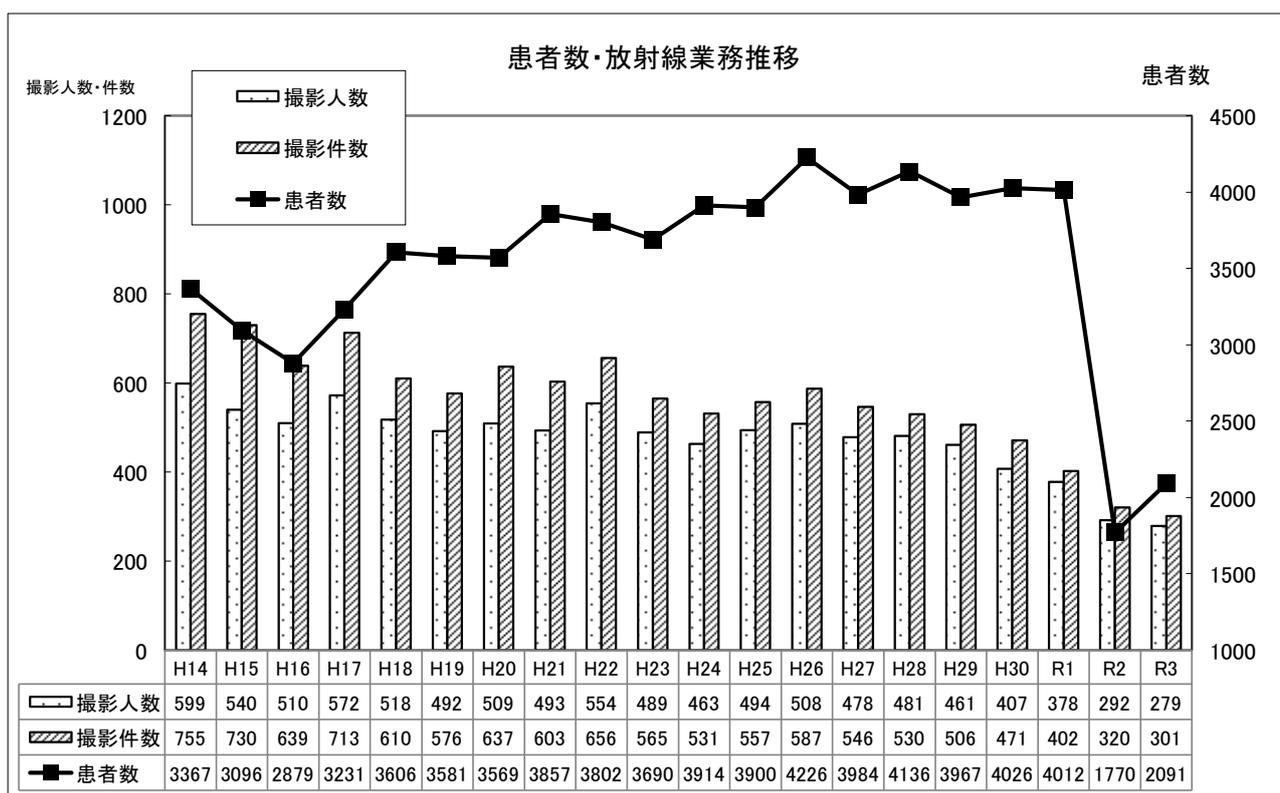


令和3年度 大野市休日急患診療所 放射線業務内訳

月	撮影人数計	内科	外科	小児科	検査件数計	胸部	腹部	頭部	脊椎	骨盤	肋骨	上肢	下肢	その他
4月	15	0	15	0	16	0	0	0	0	3	0	6	7	0
5月	33	4	29	0	35	4	1	1	0	2	1	9	17	0
6月	13	1	12	0	13	0	1	0	0	0	0	8	4	0
7月	34	4	30	0	38	5	2	2	3	1	1	11	12	1
8月	24	7	17	0	25	7	1	0	2	1	0	8	6	0
9月	19	3	16	0	21	3	0	1	0	1	1	8	7	0
10月	30	7	22	1	35	7	4	0	3	1	1	6	13	0
11月	18	4	13	1	19	5	0	0	2	0	0	5	6	1
12月	20	6	14	0	21	7	2	0	4	1	0	5	2	0
1月	37	4	33	0	40	6	0	2	2	3	0	18	9	0
2月	16	3	13	0	16	3	0	0	2	0	2	6	3	0
3月	20	1	19	0	22	3	1	0	0	2	1	10	5	0
計	279	44	233	2	301	50	12	6	18	15	7	100	91	2



大野市休日急患診療所 撮影画像評価

2021年度 大野市休日急患診療所における年間撮影内訳 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	撮影人数	胸部	腹部	頭部	脊椎	骨盤	四肢関節	その他	総件数
内科・小児科	46	50	12	6	18	15	191	9	301
外科	233								
合計	279								

評価フィルム内訳 58人(62件) 期間 2021年7月1日～2021年8月31日

	撮影人数	胸部	腹部	頭部	脊椎	骨盤	四肢関節	その他	総件数
内科・小児科	12	9	3	0	0	0	0	0	12
外科	46	3	0	2	5	1	37	2	50

表1 撮影フィルム評価分類(対象件数:62件 全141枚)

評価	A	B	C	D
読影	支障なし	ほぼ支障なし	支障あり	問題あり
診療	支障なし	支障なし	やや支障あり	支障あり
再撮	必要なし	必要なし	出来れば再撮	再撮
該当件数	54	6	1	1

※複数評価あり

表2 評価BCDの内容

	機器	手技	条件	処理
コードNO.	NO. 100代	NO. 200代	NO. 300代	NO. 400代
該当件数	0	7	0	1

※ 機器: 自現機以外の機器調整不備 手技: 不適切な撮影手技 条件: 不適切な撮影条件
処理: 階調の問題 取扱: 不適切なフィルムの取り扱い

表3 内容詳細(重複あり)

101センターズレ				
102X線斜入				
103IP管理				
201ポジショニング不適				
202肺野欠け				
203肺尖欠け				
204横隔膜欠け		1		
205恥骨欠け				
210入射点不適				
220絞り過度		1		
221絞り不足				
230体動あり				
231呼吸ブレ				
242リス忘れ				
250着衣金具有				
252フック位置不適				
253マーカ不適				
255マーカなし		5		
301S値不適				
402階調不良				1
Bの内訳	0	5	0	1
Cの内訳	0	1	0	0
Dの内訳	0	1	0	0

結果

前年度に比べ、総撮影患者数は292名から279名に減少し、総撮影件数は320件から301件へと減少した。

表1より 評価A54件、評価B6件、評価C1件、評価D1件であった。診断に支障をきたすような画像は2件であった。

表2表3より 評価Bの内訳として、手技によるもの5件、処理によるもの1件であった。評価Cは手技によるもの1件であった。

評価Dは手技によるもの1件であった。

表3より マーカーなしの画像が一番多かった。

考察

腹部立位撮影で横隔膜が欠けた画像が1件あった。不適切な画像を出さないよう、撮影後にはしっかり画像を確認してから撮影を終了するよう心掛けていただきたい。

階調不良の画像が1件あったため、撮影後、必要に応じて調整をしてから画像出力していただきたい。

